

2年間、支援活動をしての想い

定期的に継続して食品をお届けすることで見てきたこと、それはただ食品を届けるだけではない「人とのつながり」が、いかに大切かということでした。

困難を抱えるご両親のいるご家庭や、ひとり親家庭は、社会との接点が少なく、悩みや問題をひとりだけで抱えがちです。そんな不安を抱えた人たちとの「つながり」を私たちが持つことで、必要なときに適切な支援につなげていく事ができ、その支援をできれば今後も継続していきたいと思っています。

支援を届けたご家庭からの声



親が病気で母子家庭だと、子どもが孤立しがちで息子も辛い中、いつも助けられてありがとうございます。つらい気持ちの時も、週1回息子のために来てくださる事が本当に心の救いです。ありがとうございます。



周りに親族などがおらず、車にも乗れないので、日中娘とふたりだけで過ごす時間が不安でいっぱいでした。週に一度きてくださって、お話しするだけで気持ちが軽くなり本当に心が救われました。ありがとうございました。

令和4年度支援中の世帯について ※令和4年11月現在

令和3年度 WAM 助成（補正予算事業）使用



私たちは今後も、この見守り事業を続けたいと思っています。今後も「なばりこども宅食」及び「なばりこども食堂」をご支援をいただきたく、予算案に含めることをご検討くださいますようお願いいたします。